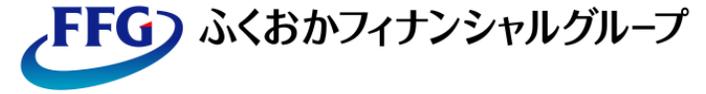


あなたのいちばんに。



2024年度第3四半期 決算ハイライト

2025年2月5日

目次

損益の状況	… P2～9
— 損益サマリー	… P2
— トップライン（連結コア業務純益）	… P3
— ボトムライン（連結純利益）	… P4
— [補足] コア業務純益（銀行合算）	… P5
— 資金利益（銀行合算）	… P6
— 連結非資金利益（除く債券損益）	… P7
— 連結経費	… P8
— 連結信用コスト	… P9
資産・負債等の状況	… P10～13
— 貸出金	… P10
— 預金等（譲渡性預金含む）	… P11
— 有価証券	… P12
— 金融再生法開示債権・貸倒引当金	… P13
みんなの銀行関連	… P14

本資料における表記・計数の定義

下記以外で特段の定義がある場合は、各ページにその詳細を記載しております。

FFG連結	ふくおかフィナンシャルグループ連結
銀行合算	福岡・熊本・十八親和・ 福岡中央（注） の各行単純合算
既存3行	福岡・熊本・十八親和の各行単純合算
グループ合算	銀行合算+FFG証券
みんなの銀行関連	みんなの銀行とゼロバンク・デザインファクトリーの合算
当期純利益	単体・銀行合算の当期（中間・四半期）純利益
連結純利益	親会社株主に帰属する当期（中間・四半期）純利益
政府等向け貸出金	政府向け貸出金と福岡銀行のFFG向け貸出金の合計
福岡中央銀行（前年比）	当社の決算に含まれる同行の計数の前年比（2024年度第3四半期9ヶ月と2023年度第3四半期3ヶ月の差）

（注）福岡中央銀行の計数について

- 当社と福岡中央銀行は2023年10月1日に経営統合いたしました。
- 福岡中央銀行の損益は2023年度下半期（6ヶ月）以降、残高は経営統合以降の計数に対し、必要な調整を行ったうえで連結・合算しております。なお、**2023年9月末以前の計数には同行の計数を含んでおりません。**

損益サマリー

損益の状況

FFG連結 (単位：億円)	2024/3Q	前年比	2023/3Q	年度計画*	進捗率
コア業務粗利益 (※)	2,062	+200	1,862		
経費	▲ 1,182	+65	1,117		
コア業務純益	① 880	+135	745	1,096	80.3%
信用コスト	▲ ② 14	▲ 110	123	64	21.6%
有価証券関係損益	▲ 17	+2	▲ 19	5	—
国債等債券損益	▲ 119	▲ 76	▲ 43		
株式等関係損益	102	+78	24		
経常利益	864	+269	594	1,055	81.9%
特別損益	12	▲ 195	207		
連結純利益	③ 607	▲ 14	621	720	84.4%

銀行合算 (単位：億円)	2024/3Q	前年比	2023/3Q	年度計画*	進捗率
コア業務粗利益 (※)	1,915	+202	1,714		
資金利益	1,667	+142	1,525		
国内部門	1,559	+115	1,444		
国際部門	108	+27	81		
非資金利益 (除く債券損益)	249	+60	188		
経費	▲ 918	+66	853		
コア業務純益	997	+136	861	1,269	78.6%
経常利益	1,028	+265	763	1,286	79.9%
当期純利益	④ 763	+199	564	939	81.3%
信用コスト	▲ 27	▲ 111	83	8	—

(1) 業績ハイライト (FFG連結)

① コア業務純益 880億円 (前年比+135億円)

▶詳細P3

- 金利上昇を受けた国内資金利益増加に加え、投資信託手数料や法人関連フィー等の非資金利益も堅調に増加したことにより、前年比+135億円の増益

② 信用コスト 14億円の繰入 (前年比▲110億円の費用減少)

▶詳細P9

- 大口先の格上げ・回収を主因に前年比▲110億円減少し、14億円の繰入

③ 連結純利益 607億円 (前年比▲14億円)

▶詳細P4

- コア業務純益は増加したが、前年の負ののれん発生益の剥落を主因に前年比▲14億円

(2) ボトムラインの連単差

(単位：億円)	2024/3Q	前年比	2023/3Q	前年比増減要因
当期純利益 (銀行合算)	④ 763	+199	564	【FFG単体、みんなの銀行関連、子会社損益】
FFG単体	▲112	▲2	▲110	— 概ね前年並みの水準
みんなの銀行関連	▲61	+5	▲66	【負ののれん発生益】
子会社損益	34	+9	25	— 前年要因 (福岡中央銀行経営統合) 剥落
負ののれん発生益	—	▲215	215	【その他連結調整】
その他連結調整	▲17	▲10	▲7	— デリバティブ及び株式売買損益の連単差等
連結純利益	③ 607	▲14	621	

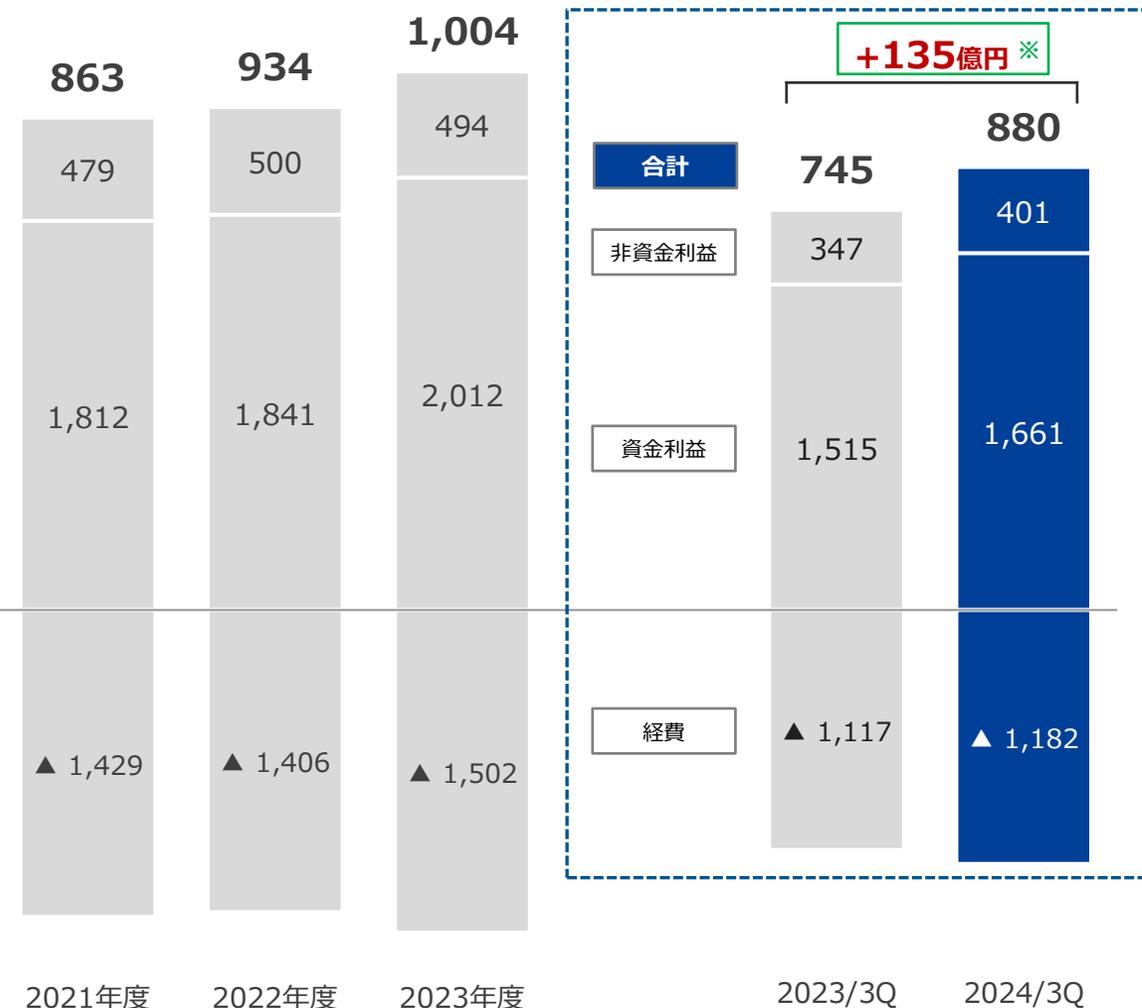
トップライン (連結コア業務純益)

損益の状況

コア業務純益の推移 (FFG連結)

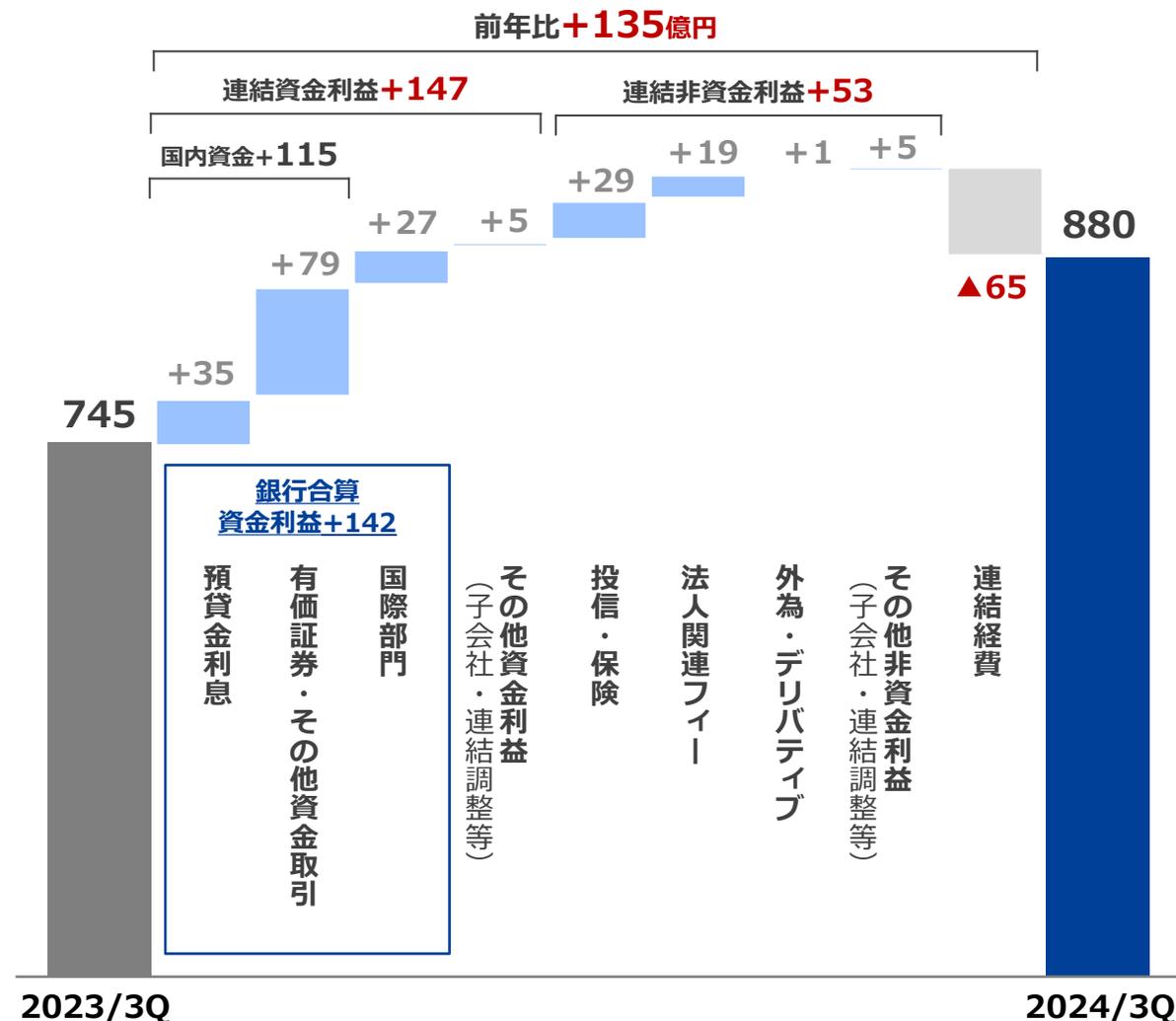
(単位：億円)

[非資金利益] 除く債券損益、[経費] 除く臨時処理分



前年比増減の内訳 (FFG連結)

(単位：億円)

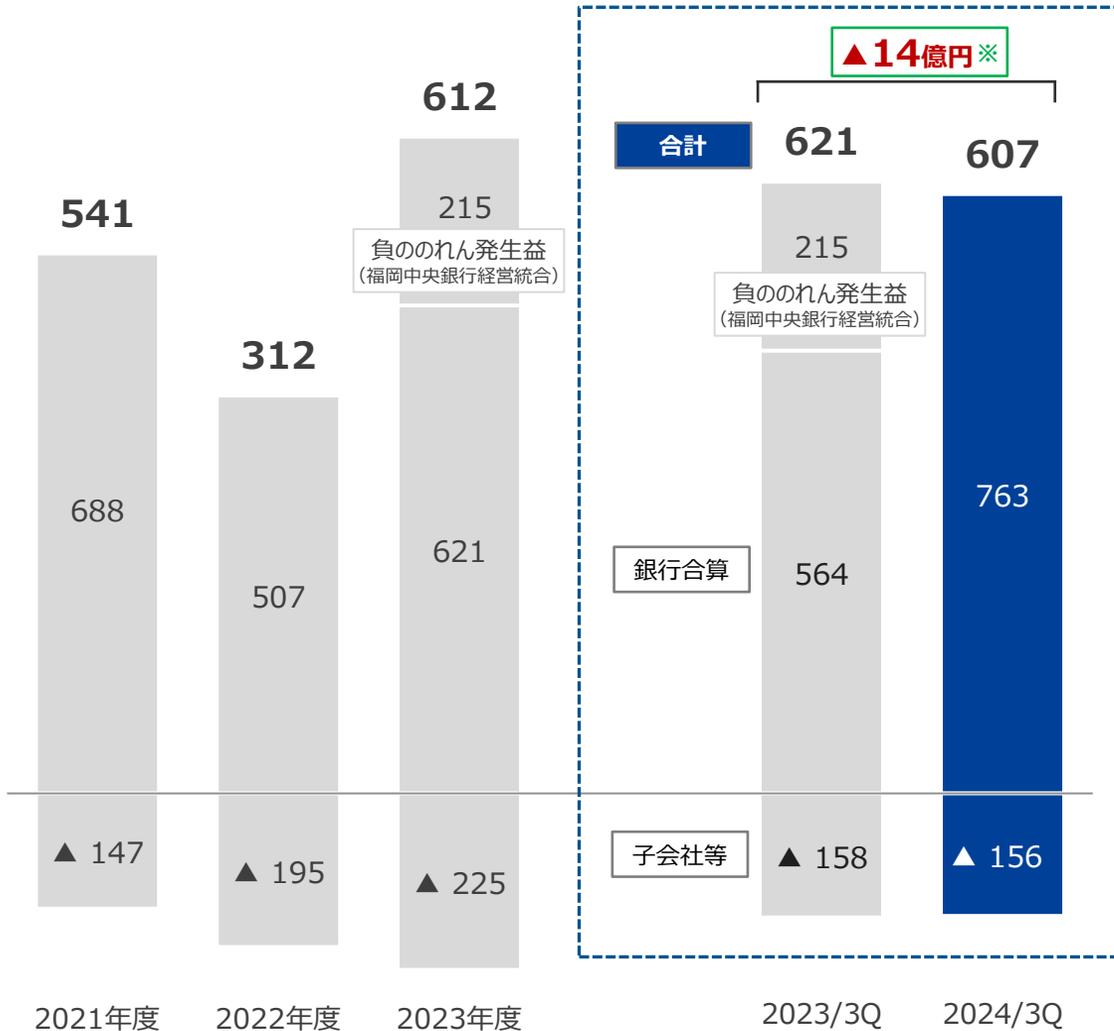


※うち福岡中央銀行 (前年比) : +8億円 (資金利益 + 37億円(預貸金利息 + 29億円、有価証券・その他資金取引 + 7億円)、非資金利益 + 1億円、経費 ▲ 30億円)

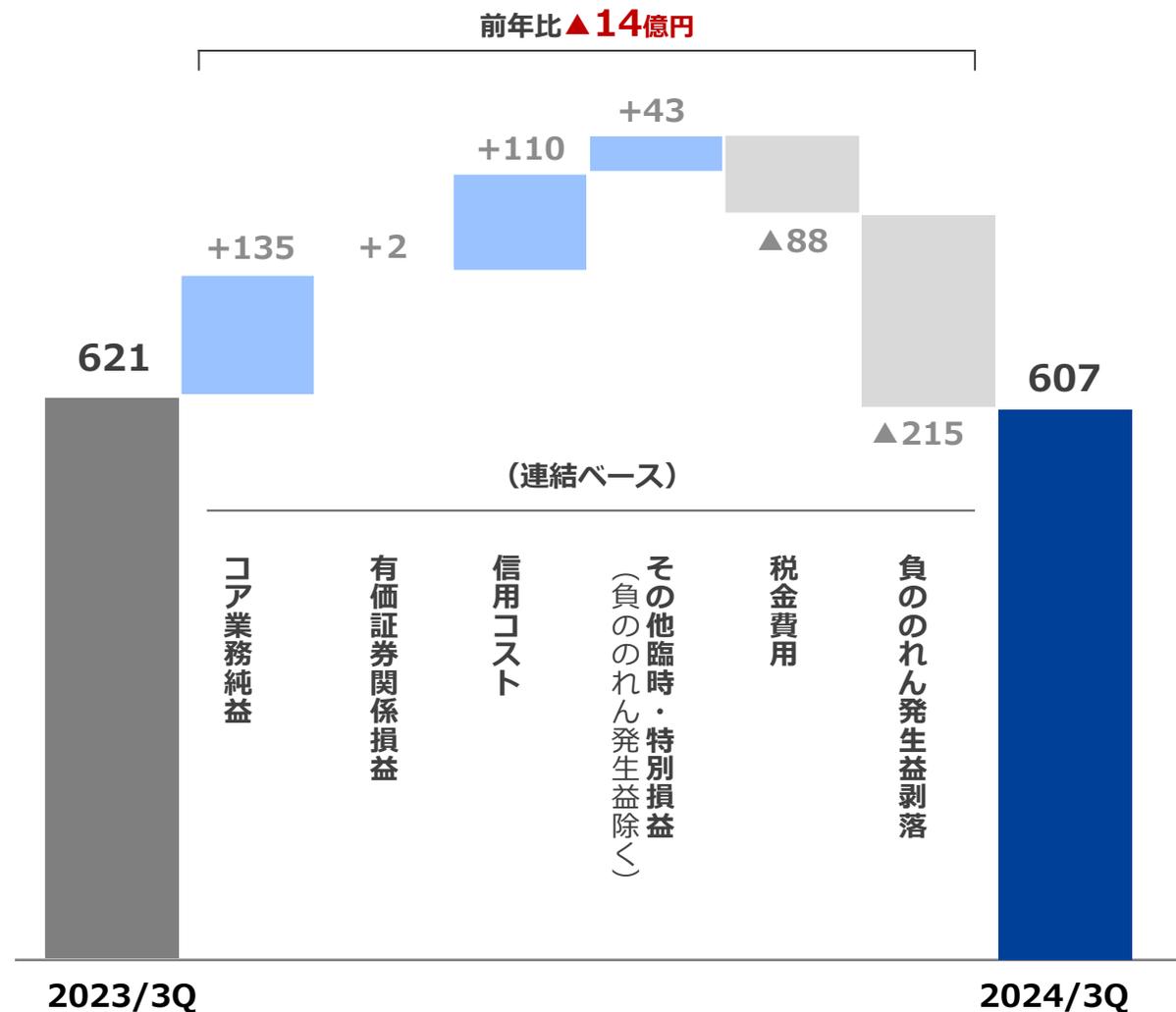
ボトムライン (連結純利益)

損益の状況

連結純利益の推移 (単位：億円)



前年比増減の内訳 (単位：億円)



※うち福岡中央銀行 (前年比) : ▲ 5億円

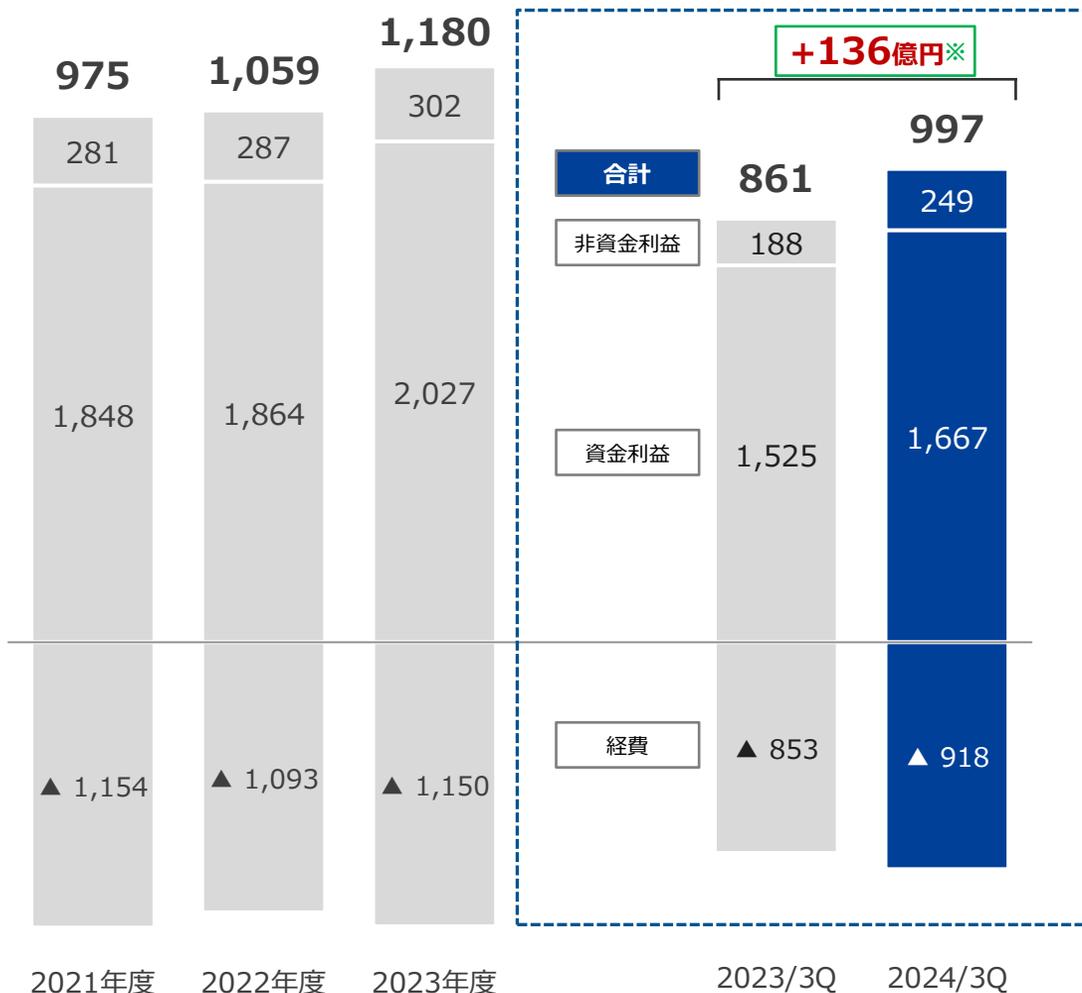
[補足] コア業務純益 (銀行合算)

損益の状況

コア業務純益の推移 (銀行合算)

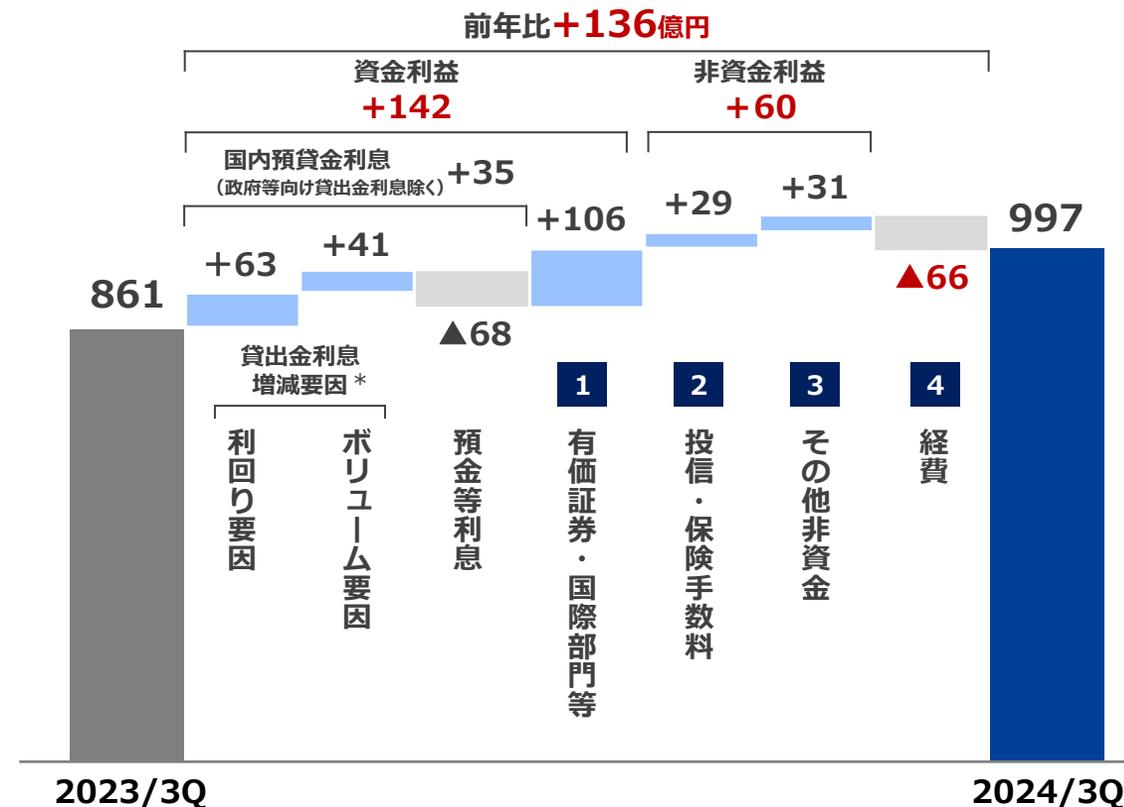
(単位：億円)

[非資金利益] 除く債券損益、[経費] 除く臨時処理分



前年比増減の内訳 (銀行合算)

(単位：億円)



- 1 国内有価証券+79、国際部門+27
- 2 投信+28、保険+1
- 3 法人関連フィー+19、住宅ローン手数料+7、為替手数料+3他
- 4 福岡中央銀行▲30、人件費▲9、物件費▲27、税金▲0

*うち福岡中央銀行 (前年比) : +8億円 (資金利益+37億円、非資金利益+1億円、経費▲30億円)

*福岡中央銀行 (前年比) の貸出金利息 (+31億円) は「ボリューム要因」に含めております。

資金利益（銀行合算）

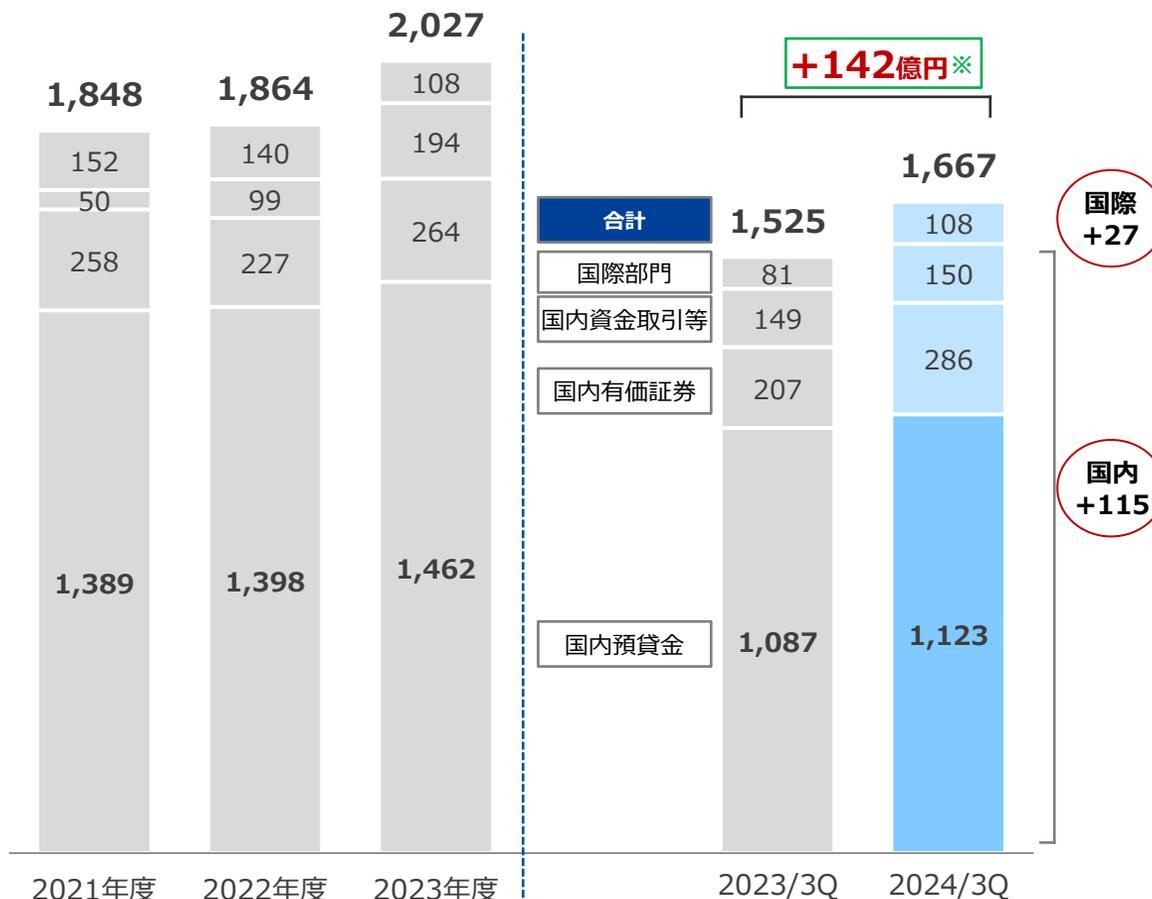
損益の状況

- 資金利益は前年比 + 142億円増益。国内部門は福岡中央銀行の資金利益を合算した影響と、金利上昇を受けた有価証券利息配当金・貸出金利息の増加を主因に +115億円増益、国際部門は外債利息の増加を主因に + 27億円増益。

資金利益（銀行合算）

(単位：億円)

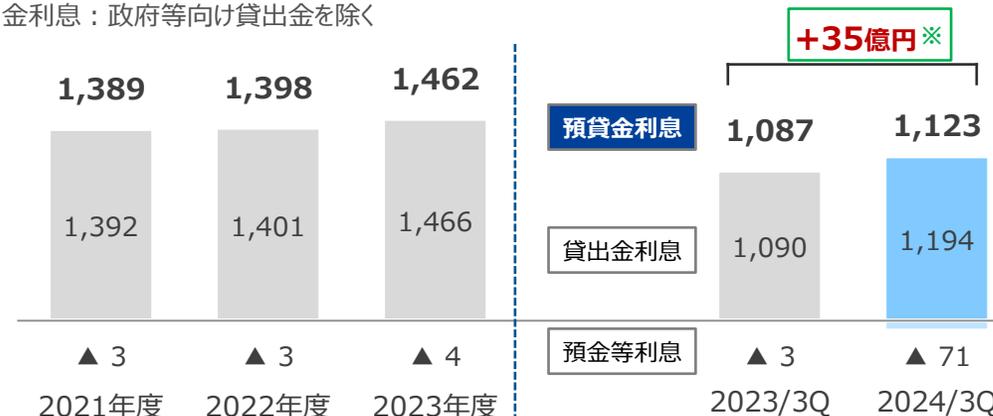
国内預貸金：政府等向け貸出金を除く



国内預貸金利息（銀行合算）

(単位：億円)

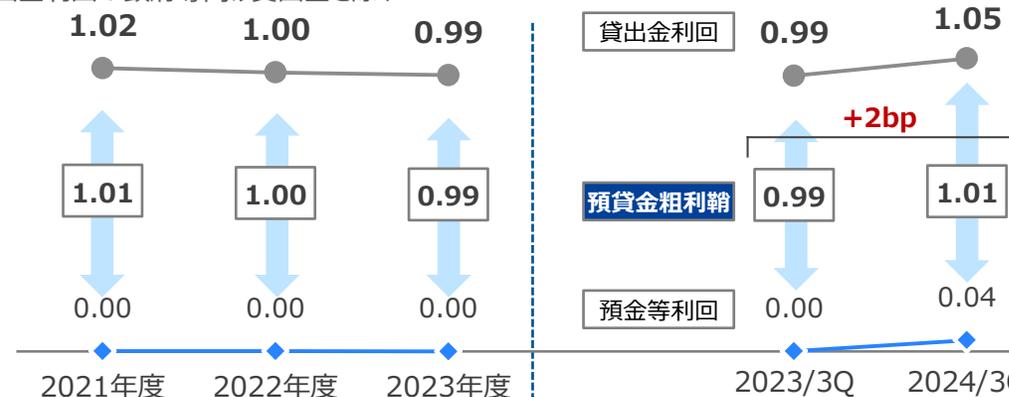
貸出金利息：政府等向け貸出金を除く



国内預貸金粗利鞘（銀行合算）

(単位：%)

貸出金利回：政府等向け貸出金を除く



※うち福岡中央銀行（前年比）：+ 37億円

※うち福岡中央銀行（前年比）：+ 29億円

連結非資金利益（除く債券損益）

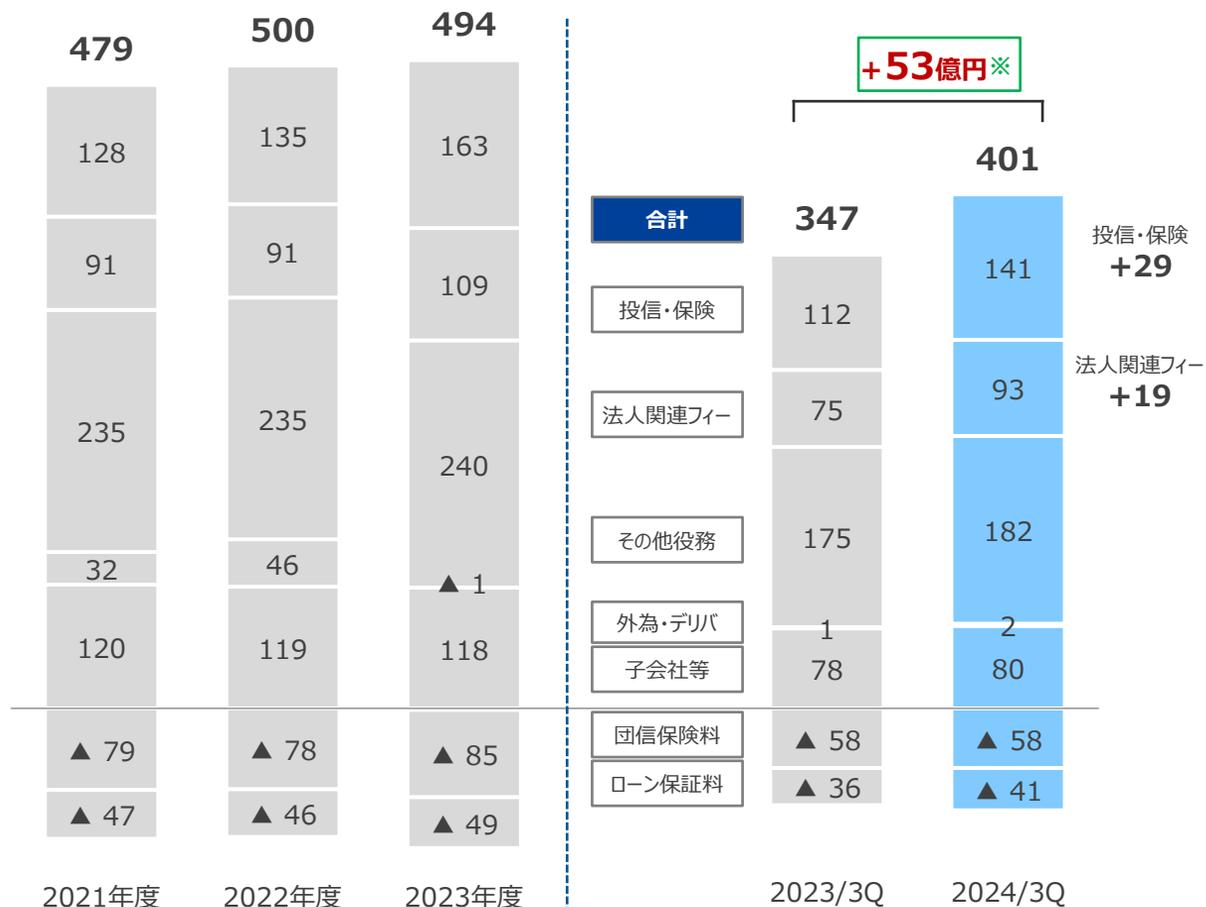
損益の状況

- 連結非資金利益は前年比 + 53億円増益。投資信託・保険手数料（前年比+29億円）や法人関連フィー（同+19億円）が引き続き堅調に推移。

非資金利益（FFG連結）

（単位：億円）

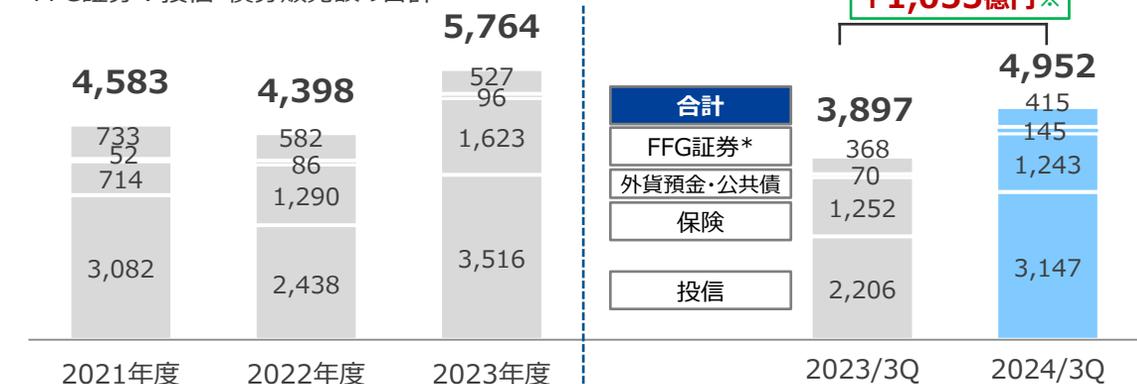
法人関連フィー：融資手数料（シ・ローン、ストラクチャードファイナンス等）・M&A手数料等



資産運用商品販売額（グループ合算）

（単位：億円）

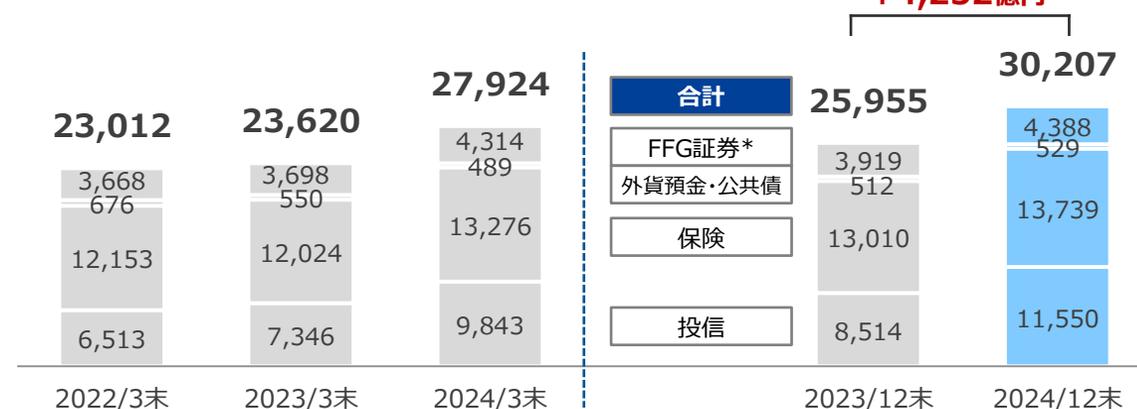
*FFG証券：投信・債券販売額の合計



個人預り資産残高（グループ合算）

（単位：億円）

*FFG証券：個人の投信・株式・債券残高の合計



※うち福岡中央銀行（前年比）：+1億円

※うち福岡中央銀行（前年比）：+69億円

連結経費

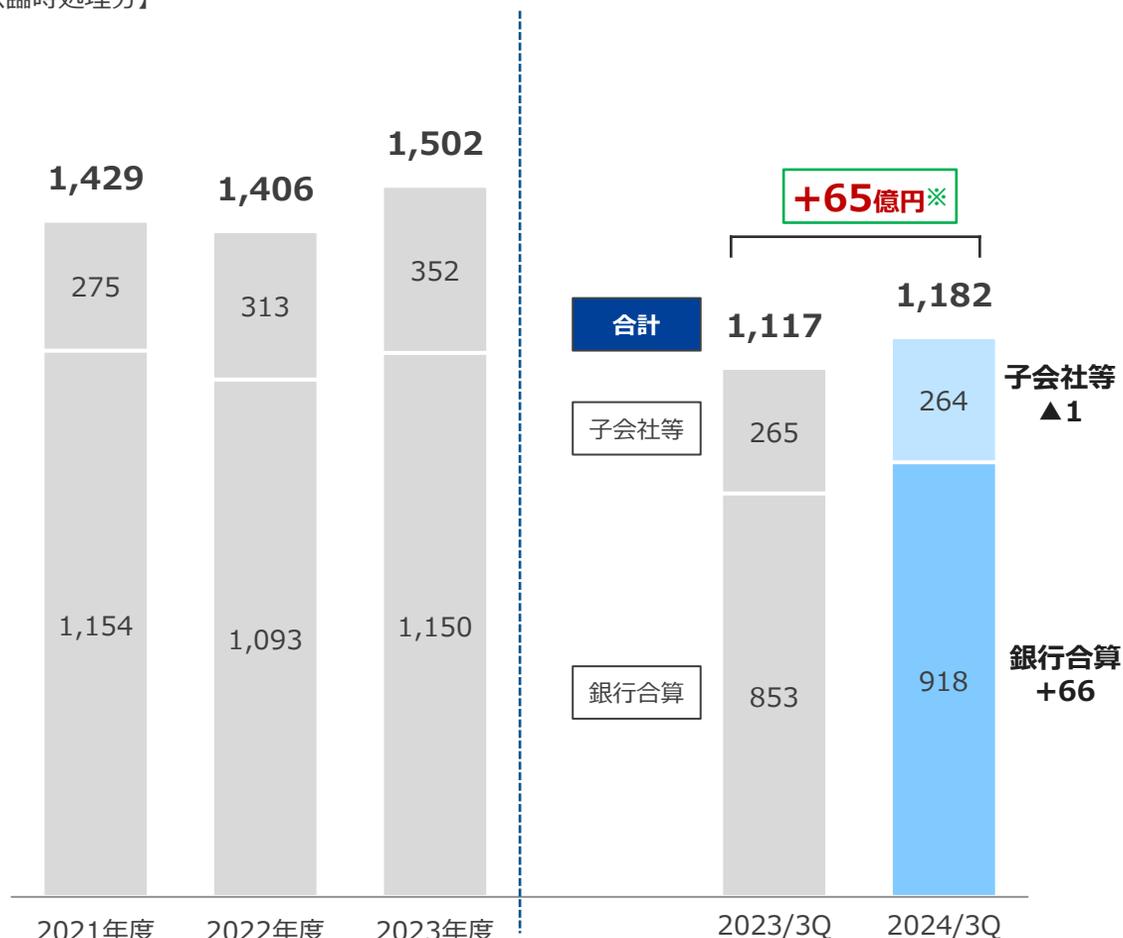
損益の状況

- 連結経費は前年比+65億円増加。福岡中央銀行の経費を合算した影響（+30億円）のほか、賃上げ（人件費）、CM・キャンペーン費用（物件費）の増加が主因。連結コアOHRはコア業務粗利益の増加により57.3%と前年比▲2.7%改善。

経費の推移（FFG連結）

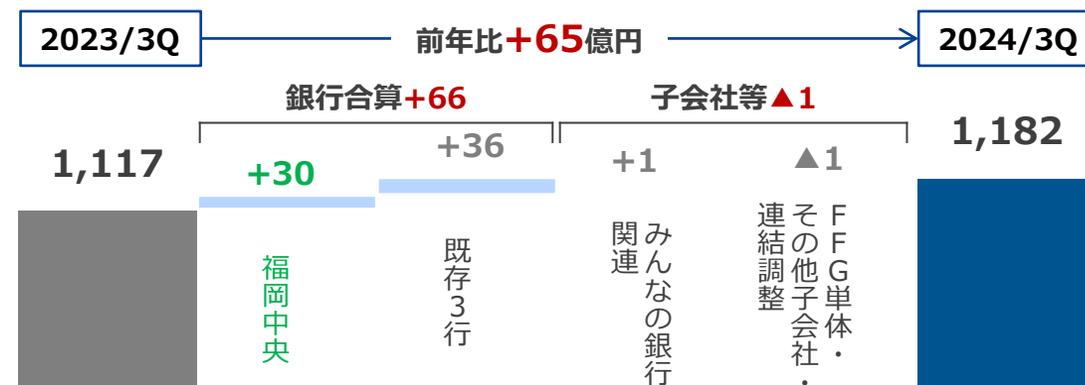
（単位：億円）

【除く臨時処理分】



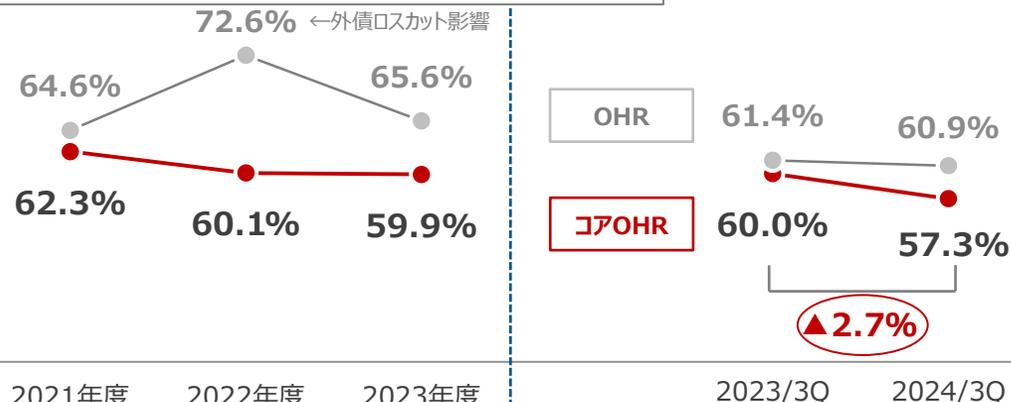
前年比増減の内訳

（単位：億円）



コアOHR（FFG連結）

OHR (%) = 経費（除く臨時処理分）÷ 業務粗利益
 コアOHR (%) = 経費（除く臨時処理分）÷ コア業務粗利益



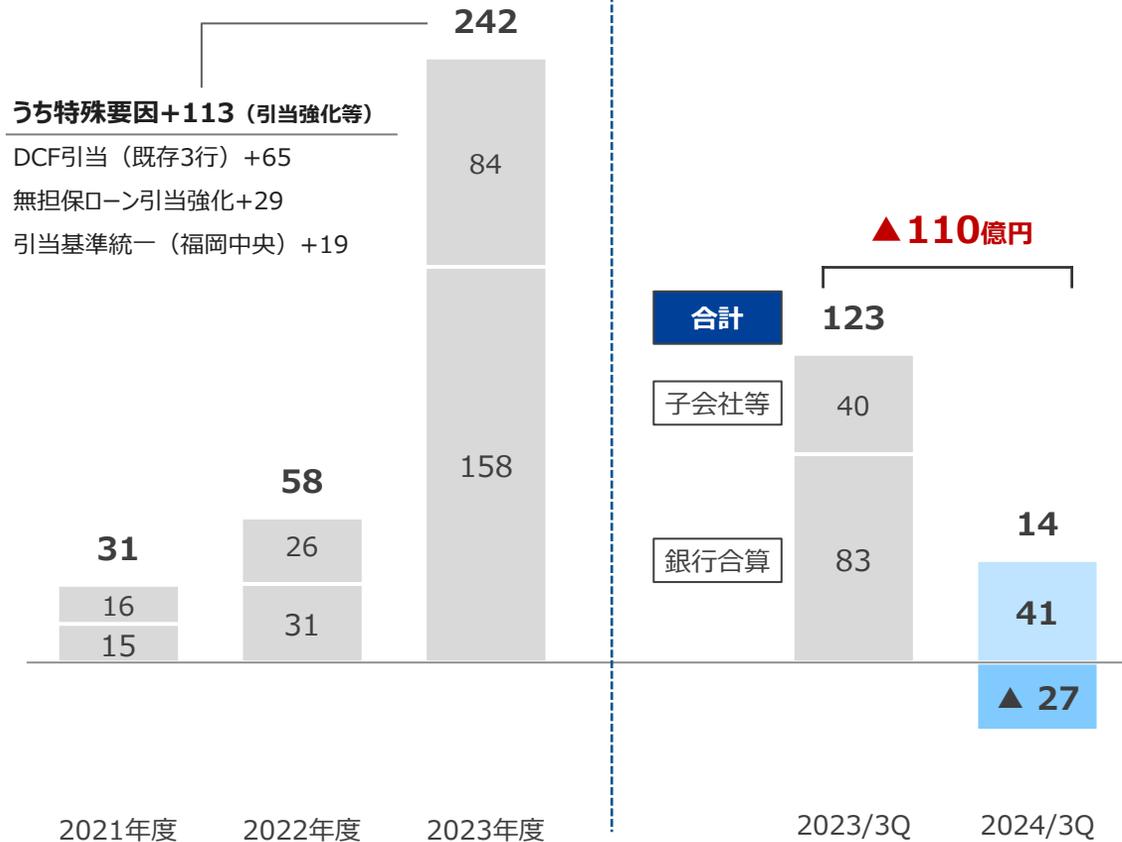
※うち福岡中央銀行（前年比）：+30億円

連結信用コスト

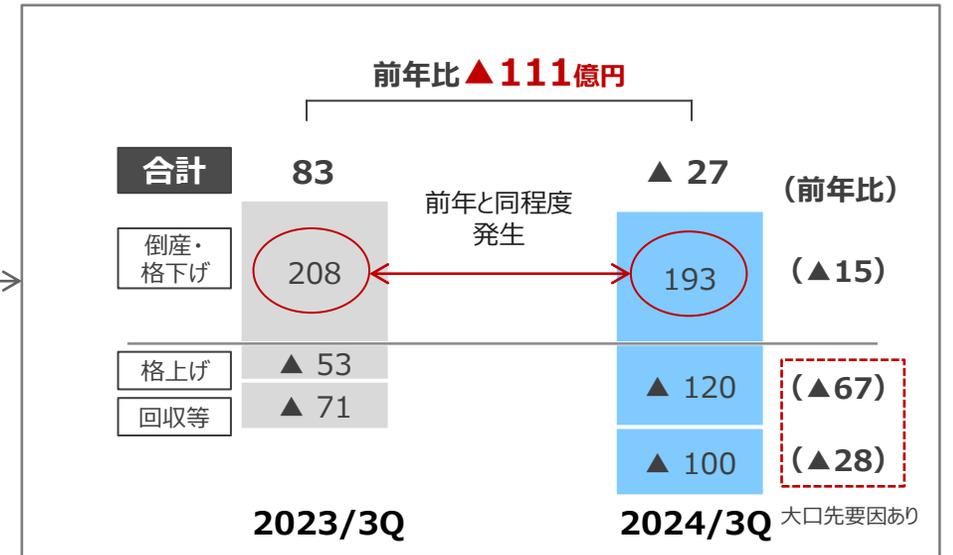
損益の状況

- 連結信用コストは、「倒産・格下げ」は前年と同程度発生しているが、大口先の格上げ・回収により前年比▲110億円減少し、14億円の繰入。

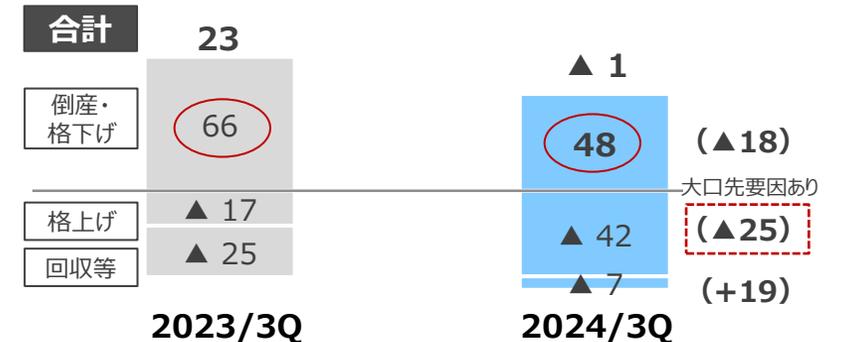
信用コスト（▲）の推移（FFG連結） (単位：億円)



発生要因別増減 (銀行合算)



(参考) 3Q : 3ヶ月の発生状況



貸出金

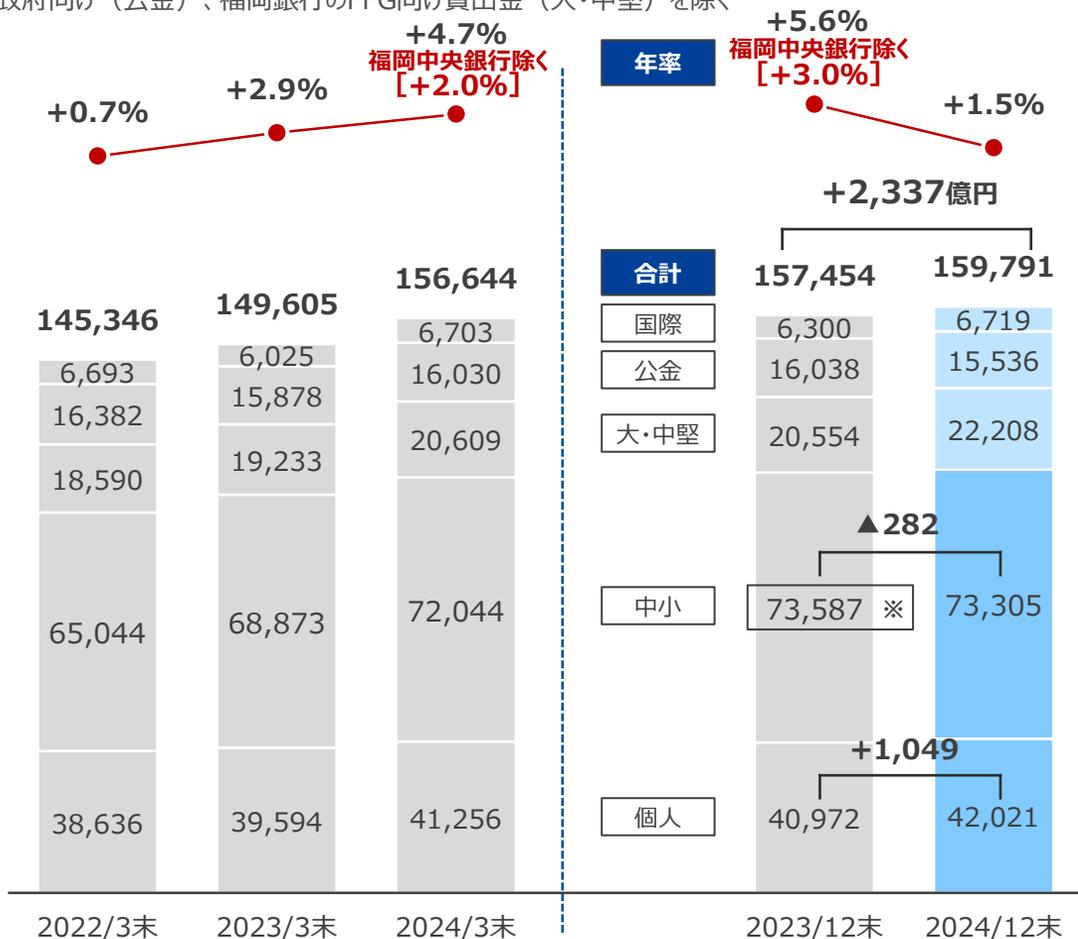
資産・負債等の状況

- 銀行合算の期末残高は15兆9,791億円、平均残高は15兆6,891億円。
- 期末残高は前年比+2,337億円（年率+1.5%）、平均残高は同+4,202億円（年率+2.8%、福岡中央銀行除く年率+1.0%）。

期末残高（銀行合算）

（単位：億円）

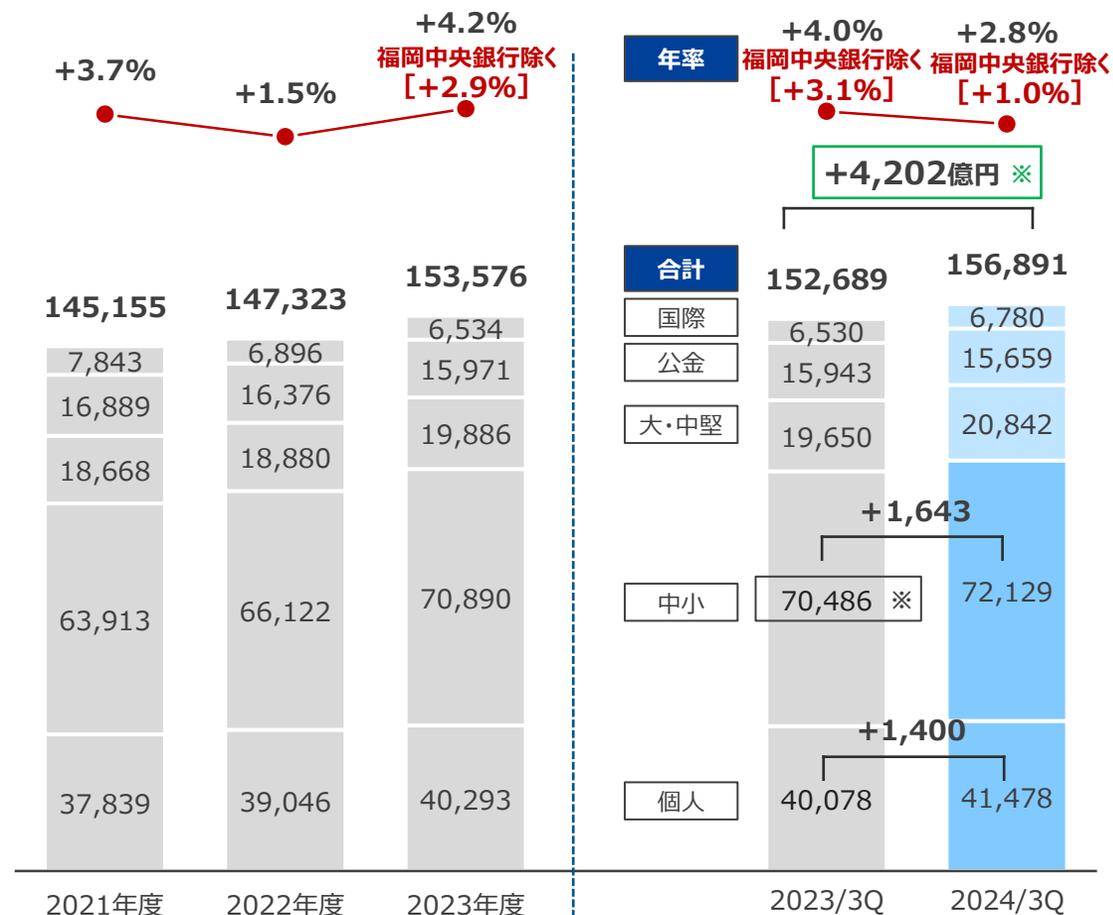
政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大・中堅）を除く



平均残高（銀行合算）

（単位：億円）

政府向け（公金）、福岡銀行のFFG向け貸出金（大・中堅）を除く



※「中小」の2023/12末残高及び2023/3Q平均残高には大口スポット要因2,100億円（期間1年未満の短期貸出金）を含む ※うち福岡中央銀行（前年比）：+2,620億円（中小+2,006億円、個人+414億円）

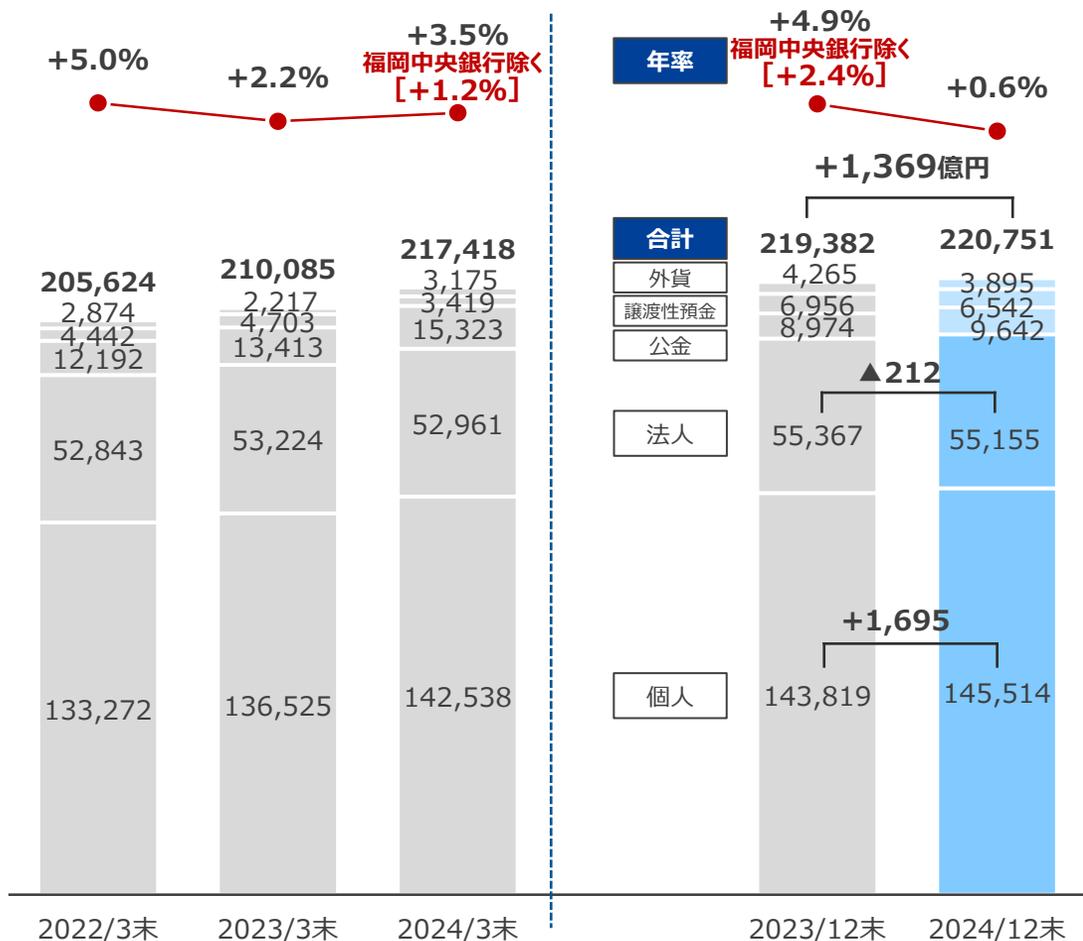
預金等（譲渡性預金含む）

資産・負債等の状況

- 銀行合算の期末残高は22兆751億円、平均残高は21兆8,045億円。
- 期末残高は前年比+1,369億円（年率+0.6%）、平均残高は同+5,042億円（年率+2.4%：福岡中央銀行除く年率+0.8%）。

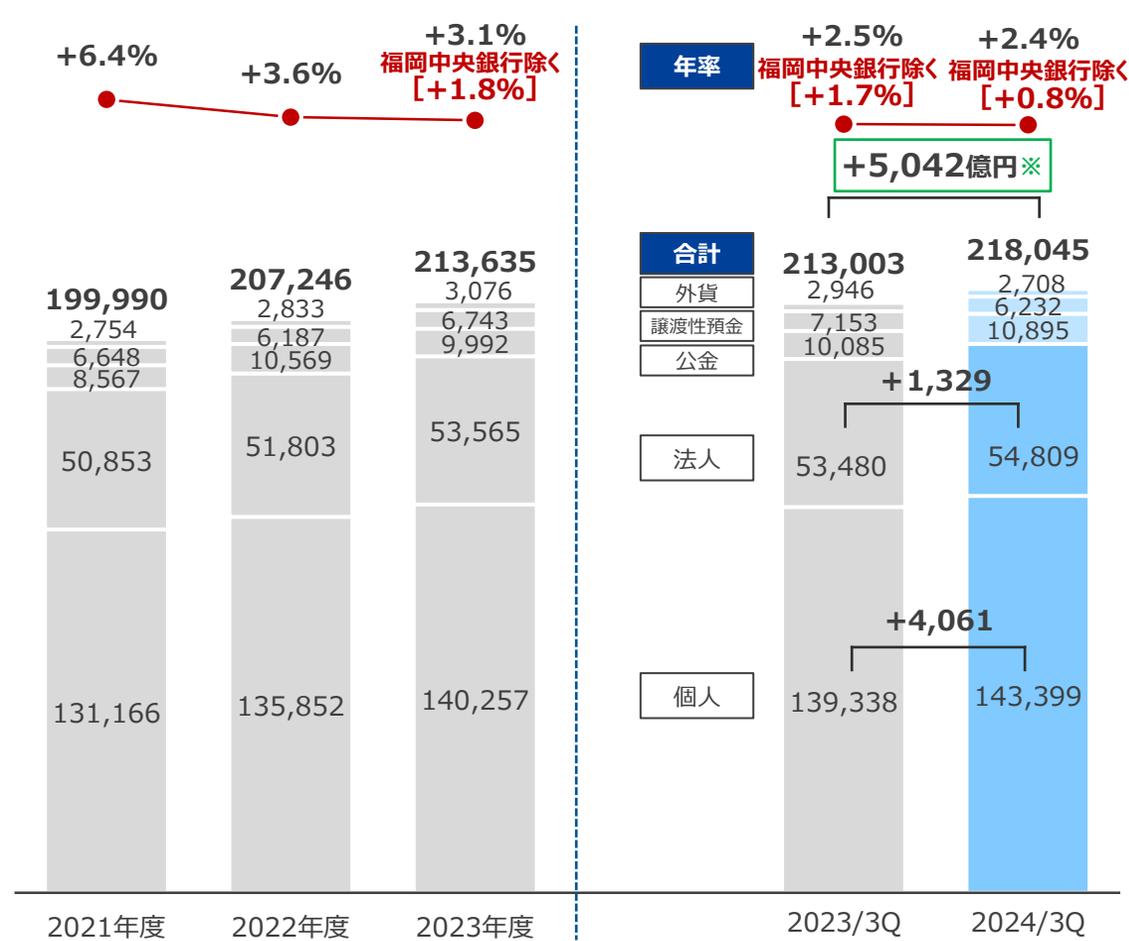
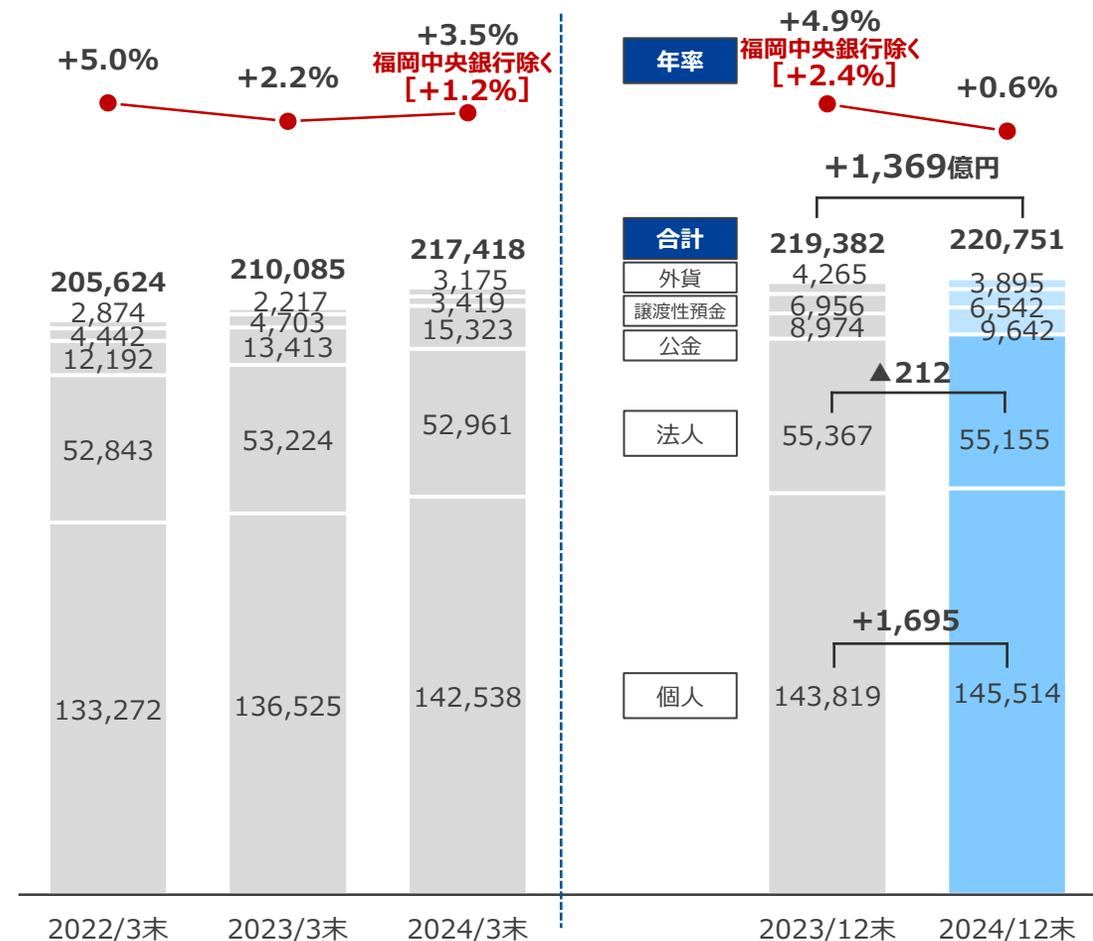
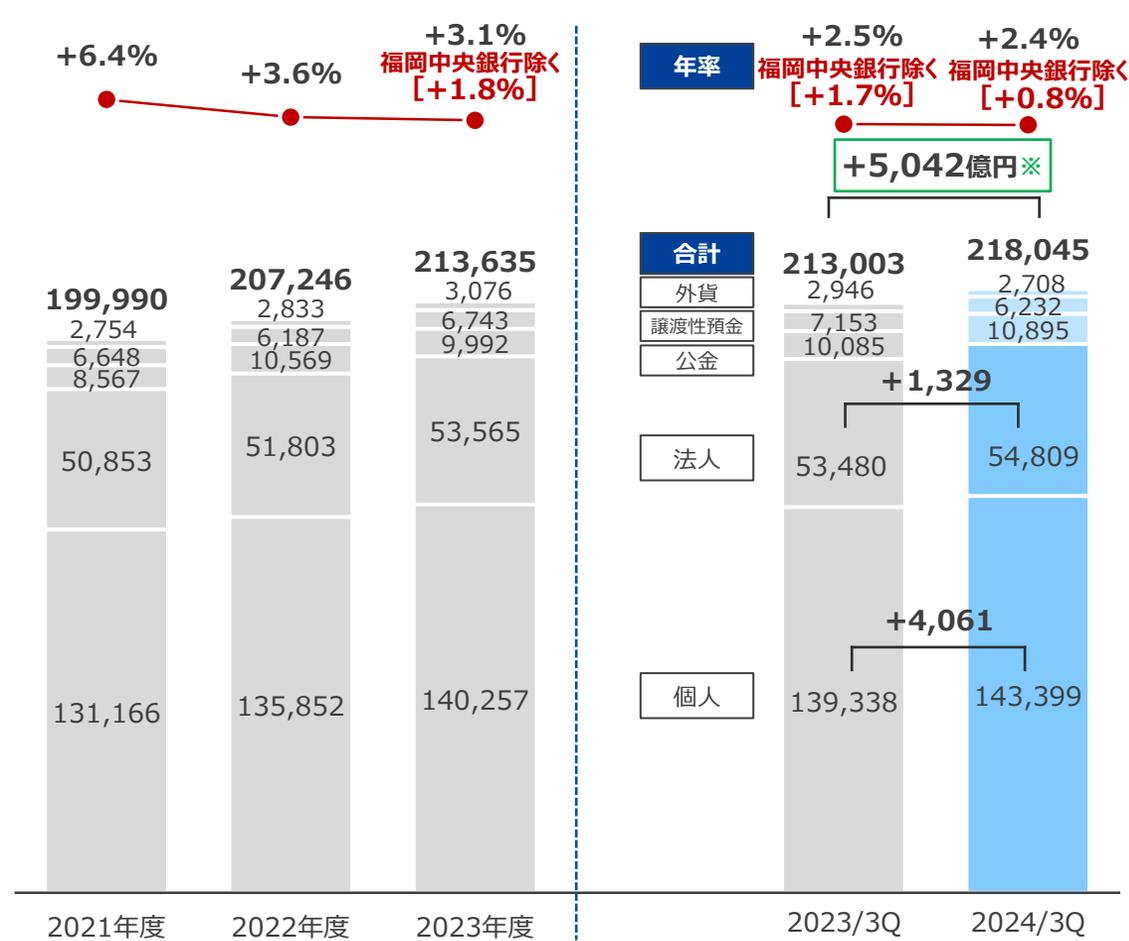
期末残高（銀行合算）

（単位：億円）



平均残高（銀行合算）

（単位：億円）



※うち福岡中央銀行（前年比）：+3,448億円（法人+947億円、個人+2,237億円）

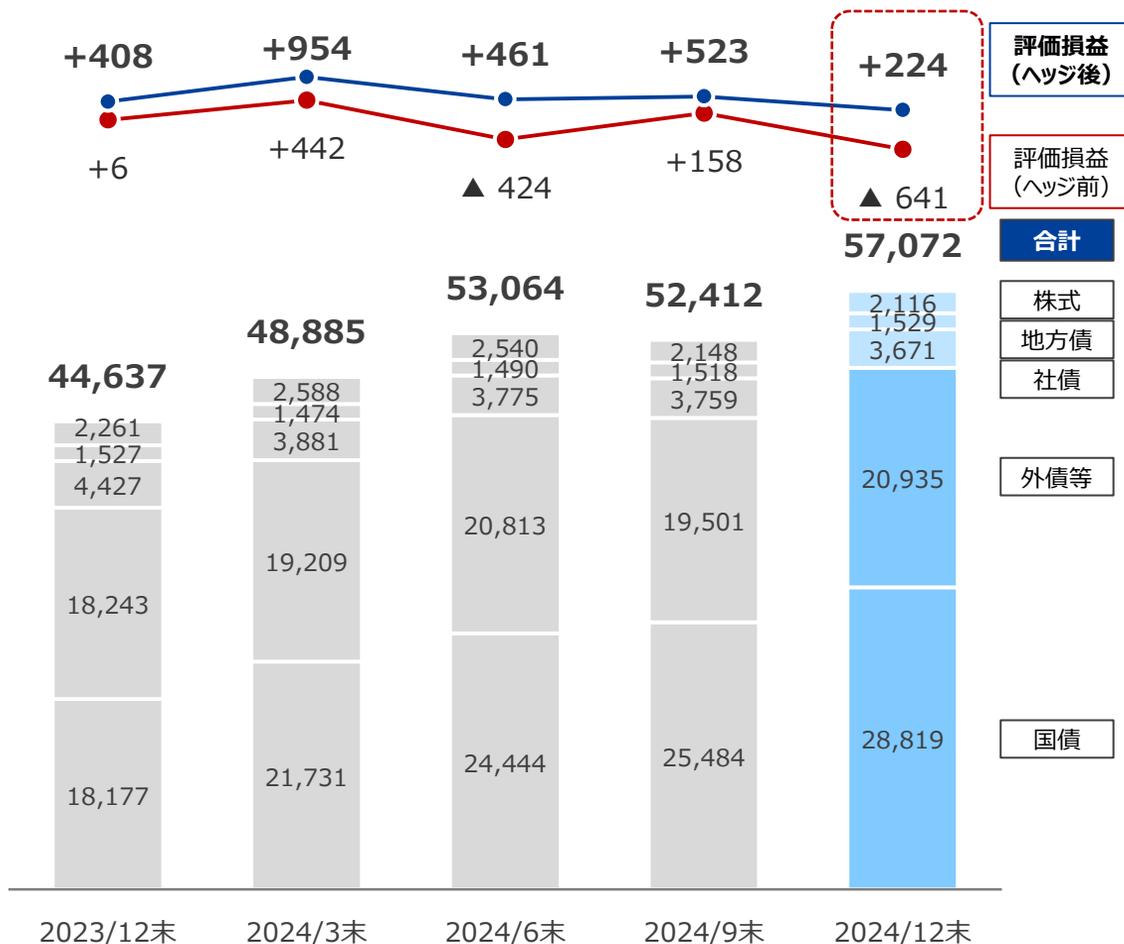
有価証券

資産・負債等の状況

● 評価損益は、国内金利上昇による国債含み損の拡大を主因にヘッジ前で含み損となるも、ヘッジ考慮後はプラス。

期末残高・評価損益 (FFG連結)

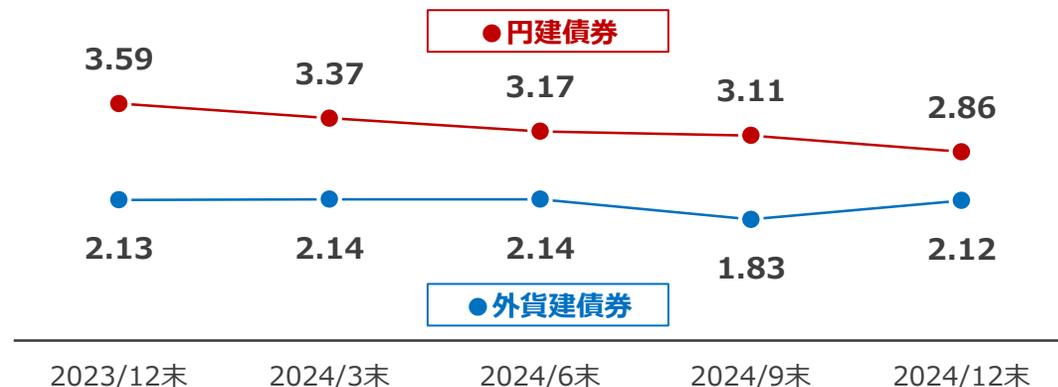
(単位：億円)



債券デュレーション (銀行合算)

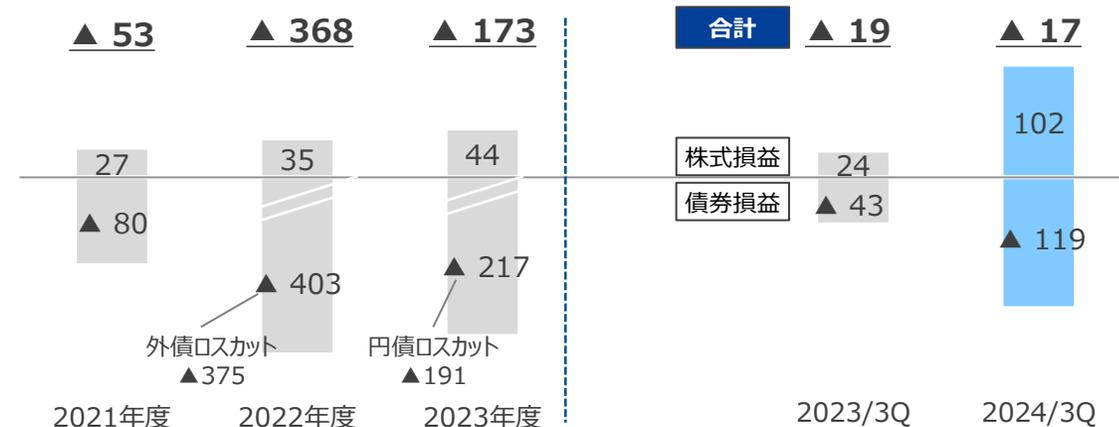
(単位：年)

ヘッジ考慮後、満期保有目的の有価証券を含む



有価証券関係損益 (FFG連結)

(単位：億円)



金融再生法開示債権・貸倒引当金

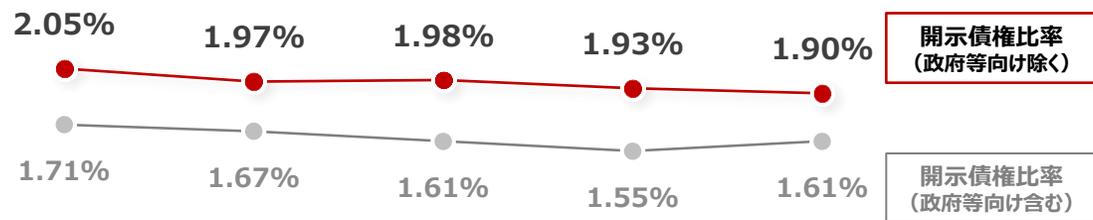
資産・負債等の状況

- 開示債権残高は低位に推移しており、貸出金等のポートフォリオに悪化はみられない。
- 貸出金等の全体に対する貸倒引当金の水準（引当率）は1.2%程度と引続き高い水準を維持。

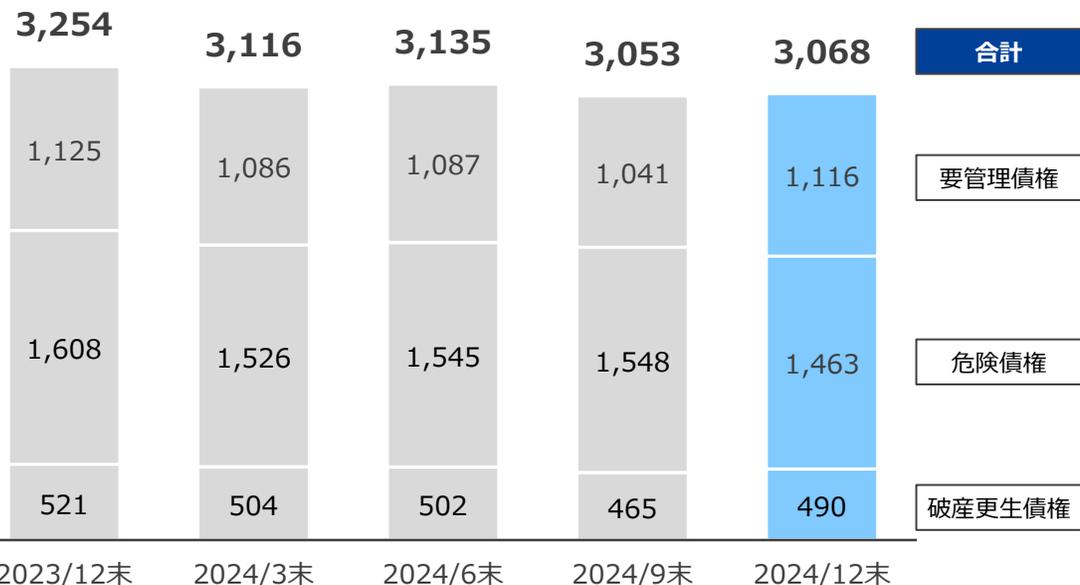
金融再生法開示債権残高・比率（FFG連結）

（単位：億円）

政府向け、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く



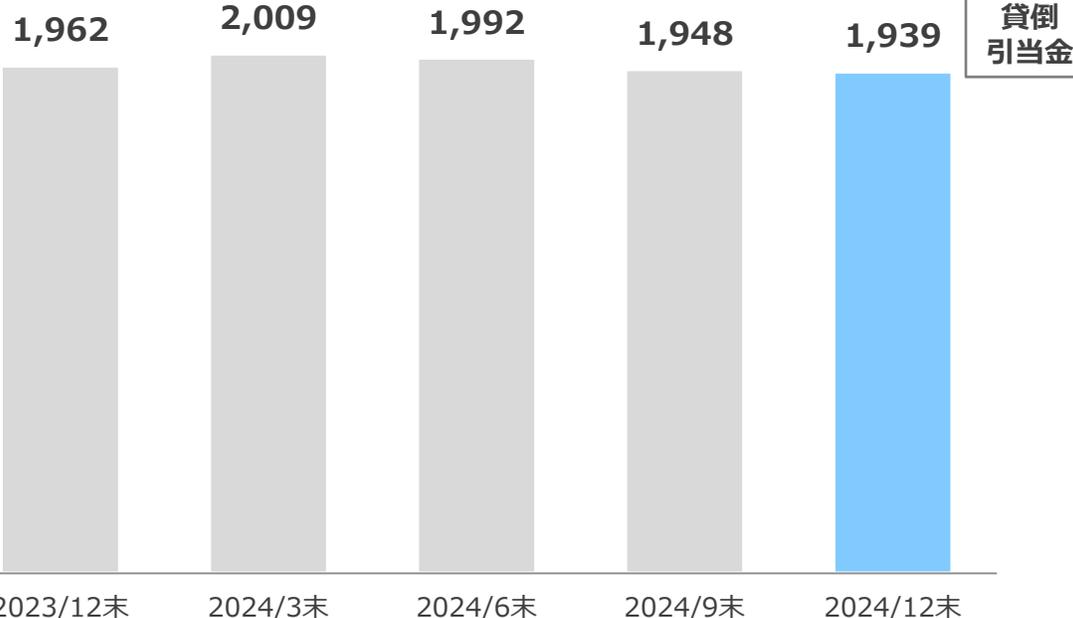
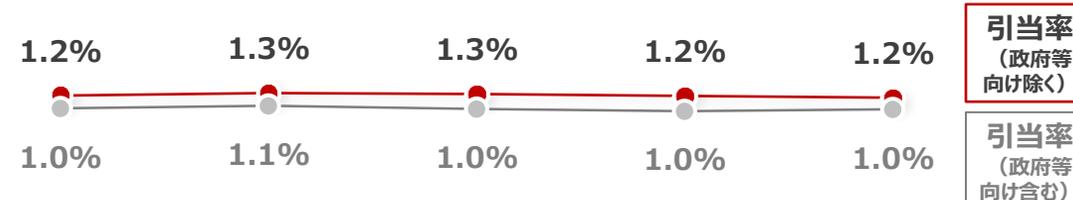
▲48億円



貸倒引当金・引当率（FFG連結）

（単位：億円）

政府向け、福岡銀行のFFG向け貸出金を除く
引当率 = 貸倒引当金 ÷ 総与信残高（金融再生法ベース）



みんなの銀行関連

みんなの銀行関連

- 口座数は堅調に推移。預金はキャンペーン預金の反動流出により9月末比では減少するも、前年比では+68億円の320億円。
- 貸出金は前年比+118億円の227億円。開示債権比率は5.80%と前年比▲1.26%低下。

損益サマリー（みんなの銀行関連※）

（単位：億円）

2024/3Q 実績

	2024/3Q	前年比	2023/3Q
業務粗利益	14	+7	7
資金利益	16	+10	6
うち貸出金利息	17	+10	6
非資金利益(除く債券損益)	▲2	▲3	1
経費(△)	83	+1	83
コア業務純益	▲70	+6	▲76
経常利益	▲81	+6	▲87
四半期純利益	▲61	+5	▲66
信用コスト(△)	11	+0	11

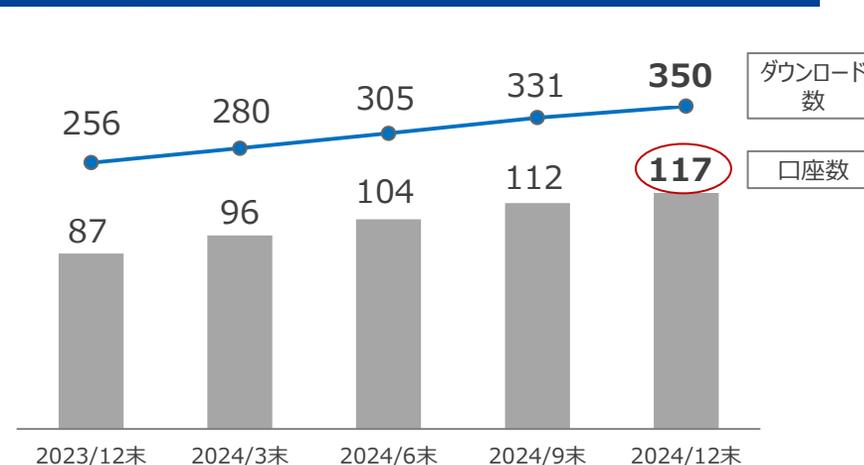
(参考)

2024年度 業績予想

	2024年度 予想	前年比	2023年度 実績
当期純利益	▲95	▲2	▲93
信用コスト(△)	16	+2	15

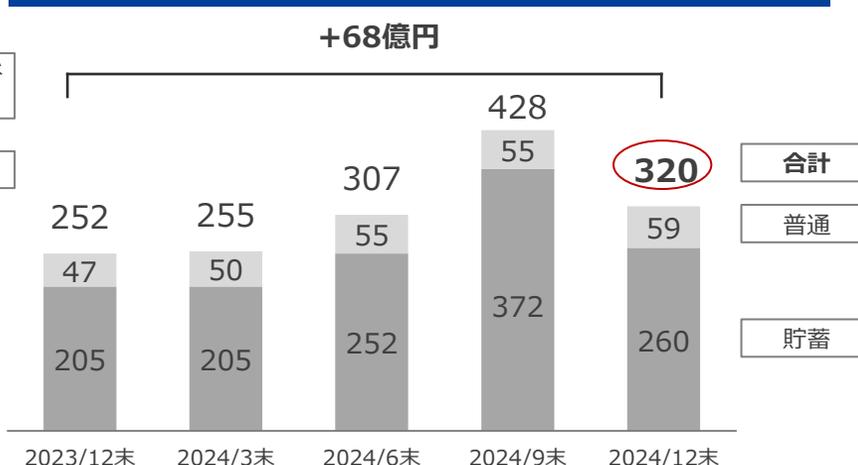
ダウンロード数と口座数

（単位：万件）



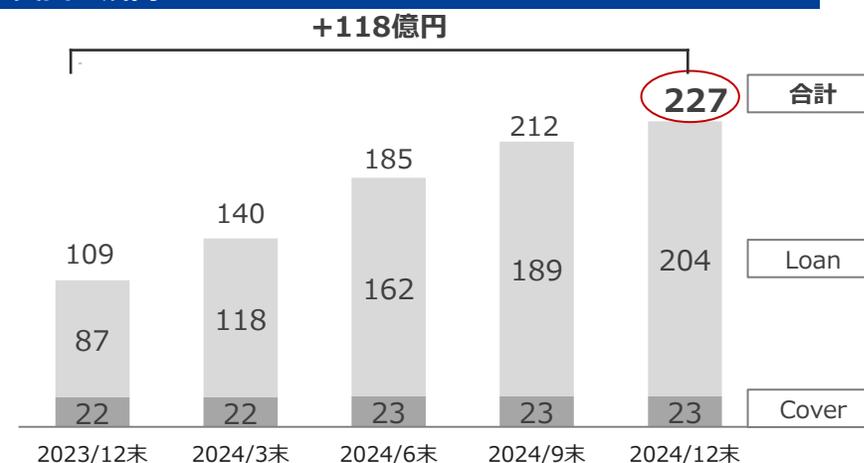
預金残高（別段預金を除く）

（単位：億円）



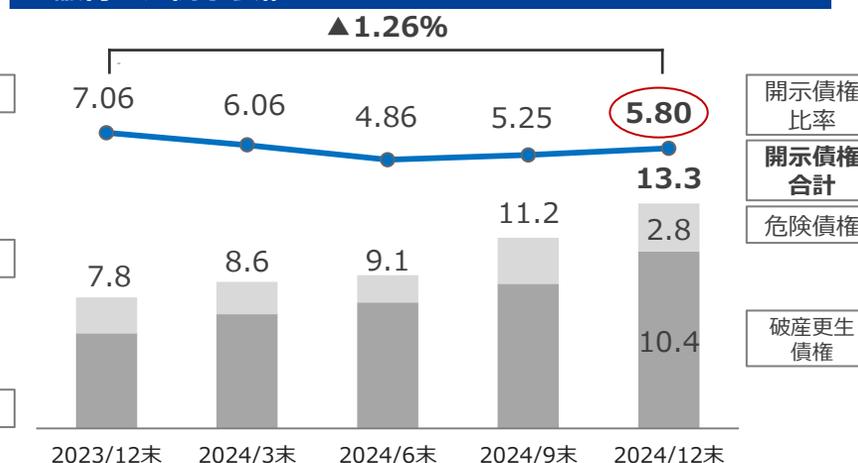
貸出金残高

（単位：億円）



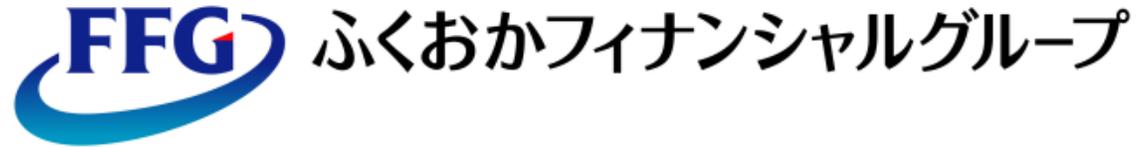
金融再生法開示債権

（単位：億円、%）



(※) みんなの銀行及びゼロバンク・デザインファクトリーの合算（両社の内部取引相殺後）

あなたのいちばんに。



- 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている事項の全部または一部は予告なく修正または変更されることがあります。
- 本資料に記述された将来の業績に関する記述につきましては、経営環境の変化等に伴い、予想あるいは目標対比変化し得ることにご留意ください。
- なお、本資料の全部又は一部を当社の承諾なしに転写・複製し、又は第三者に伝達することはできませんのでご注意ください。